

1 題材名 はくについてリズムをうとう

教材名 「ラデッキー行進曲」(ヨハン・シュトラウス作曲)
「ディズニーソング・ジブリソング」

2 題材について

(1) 題材観

本題材では、人とのかかわりを広げて音楽活動を楽しむ子どもを育てることを重点的に取り組み、拍の流れを体で感じ取りながら音を音楽にしていく活動を行う。

本校では、昨年度から通常学級と特別支援学級の音楽での交流・共同学習に積極的に取り組んでいる。今年度は2学年の各クラスともに交流をし、昨年度に引き続き、リズム遊びや歌唱指導を中心とした授業を行っている。昨年度は、音楽に合わせて体を動かしたり、体を動かして歌ったりして、拍のまとまりや拍の流れを感じ取ることができてきた。また、拍の流れを感じ取りながら、リズムを模倣したり、短いリズムや言葉をつくってリレーでつないだりする活動にも取り組んできた。

このような経験を踏まえて、本題材では、これまでに身に付けてきた拍の流れを感じ取りながら身近な素材で音をつくり、音の出し方・音色・音と音のバランスを工夫してアンサンブルができる表現の技能を育てていきたい。さらに、自分のリズムと友だちのリズムを重ねる活動によって、互いの声や互いの音にしっかりと耳を傾け、音と共に相手を受け入れることができるようにさせたい。また、みんなと共に音楽をつくる楽しさを味わうことも体験させていきたい。

(2) 指導観

本題材では、第一次で今までに学習してきたことを生かして「ラデッキー行進曲」や「ディズニーソング・ジブリソング」などで、楽曲に合わせて体を動かす。ペアや様々なグループ形態で拍の流れによって拍子の特徴を感じ取れるようリズム打ちができるようにしていきたい。

第二次では、身近な素材である紙から音をつくり、拍の流れを感じ取りながら音楽をつくり上げていく。紙素材の音の特徴に気づきながら、拍の流れの中で、リズムに音を合わせていく。自分の思いをもった表現ができる活動にしていきたい。

このような子どもたちの手や体の触れ合う活動、通常学級と特別支援学級のかかわり合いを大切に音楽活動の中で、お互いを感じるにより、友達とのよい関係を築くことができ、さらに豊かな響きの中で表現できるようにしていきたい。

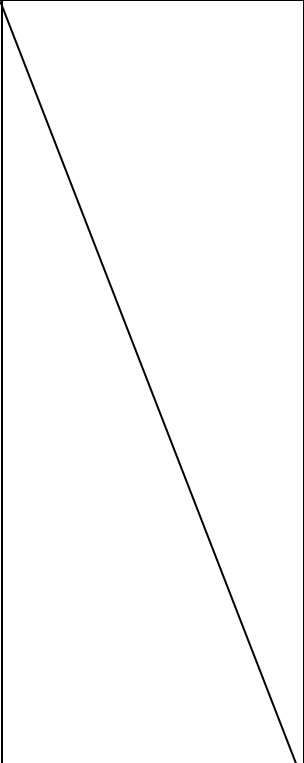
そして、こうした音楽活動は人間関係を築いていく上で大切な共感性・集団性・社会性を育てることができる。音楽はまさに、人と人を、心と心をつなげてくれる架け橋であると考え。豊かな響きの中に、自分自身の声や音を溶け込ませる喜びと、相手を大切に思うあたたかい雰囲気の中で表現することの喜びを味わわせることができるだろう。そして、一人一人が大切な存在で

あるということを実感できるような活動にしていきたい。

3 題材の目標

- ・リズム譜に親しみ、拍子を感じ取りながら、体を動かしたり、リズム打ちをしたりする。
- ・素材を生かして音をつくったり、リズムをつくったりする。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
<p>① 拍の流れを感じ取りながら、曲に合わせてリズムを打つ学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 素材を生かして、音やリズムをつくり、組み合わせさせて音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>① リズム、拍の流れ、反復のそれらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音を音楽にしていくことを工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いをもっている。</p>	<p>① リズム譜を見て、拍の流れを感じ取ってリズムを打っている。</p> <p>② 拍の流れを感じ取ってリズムを打っている。</p> <p>③ 拍の流れを感じながら、リズムをつくり、演奏している。</p> <p>④ 素材を生かして、リズムの組み合わせを工夫しながら音楽をつくっている。</p>	

5 題材の指導計画及び評価計画（4時間扱い）

次	時	○学習内容・主な学習活動	評価基準
第一次	第1時	ねらい 拍の流れを感じ取りながらリズムを打つ	
		<ul style="list-style-type: none"> ○「ラデッキー行進曲」や「ディズニーソング・ジブリソング」に合わせて、リズム打ちや身体表現をする。 ・「ラデッキー行進曲」や「ディズニーソング・ジブリソング」を聴きながら、拍の流れを感じ取り、拍に合わせて体を動かしたり、リズム打ちをしたりする。 ・リズム伴奏に合わせて、一人ずつつくった、リズムをみんなで模倣し、リレーする。 	<p>リズム譜を見て、拍の流れを感じ取ってリズムを打っている。</p> <p style="text-align: right;">（音楽表現の技能①）</p> <p>拍の流れを感じ取りながら、曲に合わせてリズムを打つ学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">（音楽への関心・意欲・態度①）</p> <p>拍の流れを感じ取りながら、音楽に合わせて体を動かしている。</p> <p style="text-align: right;">（音楽表現の技能②）</p>
第二次	第2時	ねらい 紙の特徴を生かして、リズムをつくる	
		<ul style="list-style-type: none"> ○紙の素材を生かして、リズムをつくる。 ・異なる素材の紙で、いろいろな方法でいろいろな音を作る。 ・自分で考えた音の出し方をグループで聴き合う。 ・自分で考えた音の出し方で4拍のリズムをつくったり、選んだりする。 ・つくったリズムをグループで聴き合い、それぞれのよいところを伝え合う。 	<p>紙の素材を生かして音やリズムをつくることに興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">（音楽への関心・意欲・態度②）</p> <p>拍の流れを感じながら、リズムをつくり、演奏している。</p> <p style="text-align: right;">（音楽表現の技能③）</p>
	第3時 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでリズムアンサンブルをつくる。 ・自分のつくったリズムでリズムリレーをしたり、友達とリズムを重ねたりする。 ・つくったリズムの組み合わせを考える。 ・他のグループと聴き合い、よいところや工夫を認め合う。 	<p>紙の素材を生かして、リズムの組み合わせを工夫しながら音楽をつくっている。</p> <p style="text-align: right;">（音楽表現の技能④）</p>
	第4時	<ul style="list-style-type: none"> ○グループのリズムアンサンブルを発表する。 ・各グループのリズムアンサンブルを発表し、それぞれのよさや工夫を認め合う。 	<p>リズム、拍の流れ、反復のそれらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音を音楽にしていくことを工夫し、どのような音楽をつくるかについて、自分の考えや思いをもっている。</p> <p style="text-align: right;">（音楽表現の創意工夫①）</p>

6 本時の学習 (3/4)

(1) 目標

リズムの組み合わせを工夫する。

(2) 展開

学習内容と学習活動	教師の指導と支援◆評価規準 (評価方法)	特別支援学級児童への個別の指導と支援◆評価規準	教具
<p>1 リズム遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲に合わせてペアやグループでリズム打ちや身体表現をする。 リズムカードで組み合わせたリズムでアンサンブルをする。 <p>2 本時の学習内容を確認し、めあてをつかむ。</p>	<p>○楽器で拍を打って、児童が拍の流れを感じ取りやすいように支援する。</p> <p>○ペアは必ず男女、通常学級の児童と特別支援学級の児童で、誰とでもつくれるように声掛けする。</p> <p>○拡大のリズムカードを提示し、みんなで確認してからリズム打ちをする。</p>	<p>☆拍の流れを感じ取りやすいように、近くでやって見せたり、手をとって一緒に拍を打ったり、タイミングよく声掛けしたりする。</p> <p>☆児童に寄り添い、手本を見せたり、手をとって一緒にリズム打ちをしたりするなど、一緒に動いて支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> リズムカード うちわ
<p>つくったリズムを組み合わせよう。</p>			
<p>3 グループごとにつくったリズムを紹介し、組み合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ずつ自分のつくったリズムを紹介する。 <p>・リズムの組み合わせ方を2種類選び、音楽の流れを決める。</p> <p>[リレー]一人ずつ順番に表現する [おしゃべり] 友達とリズムを組み合わせせて表現する [いっしょ] みんなで一斉に表現する</p> <p>・つくった音楽を表現して、音楽の流れをみんなで確かめる。</p> <p>・リズムの組み合わせ方を2種類から3種類に増やす。</p>	<p>○グループ内の友達がつくった音を聴き、同じ音の出し方でも素材が違えば音が違うことや、同じ素材でも音の出し方が違えば音が違うことに気が付くことができるように、音の出し方や、素材などに注目して聴くように声掛けする。</p> <p>○音楽の流れや仕組みが一目でわかるように、ボードとマグネットですす。</p> <p>○[リレー]では、どんな順番で一人ずつ表現するのか、また、[おしゃべり]では、どの音をどのように重ね、組み合わせるのか、さらに全員で一緒に表現するのか、工夫して考えるように助言する。</p> <p>○グループを見て回り、自分の意見だけでなく、相手の考えも取り入れられるように声掛けする。</p> <p>○グループを見て回り、リズムのつながりがスムーズに流れるように声掛けする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆リズムの組み合わせを工夫しながら音楽をつくっている。 (音楽表現の技能④)</p> </div> <p>○最後、どんな終わり方にするのか、みんなで工夫するように促す。</p>	<p>☆前時までに学習した音の出し方や、その伝え方を一緒に確認し児童が自信をもって伝えることができるようにする。</p> <p>☆児童に寄り添いながら一緒に活動し、友達とかかわることができるように支援する。</p> <p>☆グループ内で決まったリズムの組み合わせ方をわかりやすく伝え、活動に参加しやすいようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・言葉で音を出すタイミングを知らせる。 ・・・手を添えて一緒に行く。 ・・・近くで一緒に行く。 ・・・声掛け (場合によって近くで一緒に行く) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆友達や教師と一緒に活動し、リズムに合わせて音を出している。</p> </div> <p>☆グループ内の友達の考えを聞くように声掛けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙 広告紙 包装紙 封筒 <ul style="list-style-type: none"> ボード マグネット (音楽の仕組み、名前)